

つき合いが悪いと思われそうで、最初のうちは一緒に行っていたが、人の噂話ばかりで全く無駄な時間だと思えたからである。

「からである。」があるのでわかりやすかったかもしれませんが、全体で、「私は～参加しなかった」の【理由】を表しています。全体を **This is because (S)(V)** で表してもいいのですが、英語では、ある文の理由を表現するとき、ある文をピリオドで区切り、その後、そのまま単独の文としてその理由を表現することができます。見た目で言うと、文と文がただ並んでいるだけになります。今回は、これを採用することにします。

「からである。」の前を見てみると、「付き合いが～行っていた」と「人の～思えた」が、「が、」で結ばれています。前半の文は【**行っていた**】、後半の文は【**行くことにそれほど意味を感じていなかった**】が中心です。なので、【**逆接**】でつながれていると判断できそうです。それぞれの文を訳出して、**however** でつなごうと思います。

A. つき合いが悪いと思われそうで、最初のうちは一緒に行っていた

予定通り、【行っていた】に当たる部分を中心に表現していきます。

(a) 最初のうちは一緒に行っていた

日本語に「行っていた」とあるので、述語は **go** を使ってもいいですし、【乗り気がしない中、とぼとぼ後ろを歩いている】感じがしたので、follow でもいいと思います。今回は後者を使います。

▪ S follow A 「SはAについていく」

という使い方です。【後ろを歩いている方】である S には I、【先を歩いている方】である A には、下線部前を参考にすれば、「他の女性たち」です。それを指し示すので **them** にしておきます。

(1) I followed them

最初のうちは

at first ですね。初めのうちにやっていたことの先頭に置くことが多いと思います、(1)の先頭に置いています。また、カンマで区切ることも多かったと思って、カンマを挟んでいます。

(2) at first, I followed them

ちなみに、「初め」を含む表現をまとめきれてない人向けに、軽く整理しておきます。

- at first 【後に変化があるんだけど、その初めのうちは】
 - first of all 【いくつか選択肢がある中でまずは第一番目に】
 - for the first time 【今までにやったことがなく今回が初めて】
- です。

(b) **つき合いが悪いと思われそうで、**

修飾表現は、つながりの語句から探すと便利です。日本語ではつながりの表現は文末に来るので、「で、」に着目して、表現できるものを探します。

a. (S) (V) で、

イメージを浮かべてみると、【付き合いが悪いと思われそう】【⇒】【最初のうちは一緒に行っていた】です。【原因】【⇒】【結果】の関係だと思いました。【原因】をつなぐ表現は、

- because (S)(V) 「(S)(V)なので」
- が使えるそうですね。

(3) because (S)(V)

b. つき合いが悪いと思われそう

次は **because (S)(V)**の中に入る表現を考えます。まずは述語から。日本語を参考にすると、「**思われそう**」の部分です。**【付き合いが悪いと思われる】**を**【頭の中で思い描いている】**感じがします。think あたりですね。今回、特に、マイナスのことを浮かべていることから、

- **S is afraid that (S)(V) 「S は(S)(V)ということを恐れる」**

を使います。

(4) S is afraid that (S)(V)

【恐れている主体】である **S** には **I** が入ります。**【恐れている内容】**が、**【付き合いが悪いと思われる】**の部分ですね。これも述語から始めます。日本語では「**思われる**」と、受け身の形になっているのですが、それに従う必要はありません。単純に書ききるために、「**思う**」を表現します。think で十分ですね。

- **S think that (S)(V) 「S は(S)(V)ということを考える」**

に取り組みます。

実際には、**【考えていた】**わけではなく、**【その時点からみて、将来考えられてしまう】**のを恐れています。なので、think は**【過去から見た未来】**を表現するために **would think** の形にします。

(5) because I was afraid that S would think that (S)(V)

【考えている主体】である **S** は「他の女性たち」です。they にします。**【考えている内容】**である **(S)(V)** は「**付き合いが悪い**」を表現したものです。これはちょっと発想しづらいです。なのでイメージをしっかりと浮かべます。それでもなかなか浮かんでこなかったのが、**逆のイメージを浮かべて、それを英語にして、最後に否定文にする** という、よく使う技術

を利用することにしました。逆のイメージである【付き合いが良い】の中では、【**にこにこしている人**】が【**いろんな人と話している**】場面が浮かびます。こんな感じの人のことを、どう表現するでしょうか。自分の知っているレポーターを探してみると、

▪ **S is friendly 「S はフレンドリーだ」**

が浮かんできました！！

【**社会的である主体**】である **S** には **I** をいれ、過去形にし、最後に否定文にすると次のようになります。

(6) **I was afraid that they would think that I was not friendly**

c. a. + b.

a. の **because (S)(V) の (S)(V)** に (6) を入れます。

(7) **because I was afraid that they would think that I was not friendly**

(c) **(a) + (b)**

この(7)のカタマリは(2) **at first, I followed them** を修飾しますが、前に置いても後ろに置いてもいいと思います。ここでは後ろに置くことにしました。

- (8) at first, I followed them because I was afraid that they would think that I was not friendly

B. 人の噂話ばかりで全く無駄な時間だと思えたからである。

述語に着目すると「思えた」です。think を引き続き使ってもいいと思いますが、ここでは feel を使うことにしました。

▪ S feel that (S)(V) 「S は(S)(V)と(漠然と)思う」

ですね。【**思う主体**】の S には I を入れます。意味的に過去なので過去形にしておきます。

(9) I felt that (S)(V)

【**思う内容**】である(S)(V)には「まったく無駄な時間だ」を表現したものが入ります。これも述語を中心に砕いていきます。「無駄」あたりから出てきているイメージだとおもいますが、それを述語にすると、

▪ S waste A 「S は A を無駄にする」

ですね。そして、されにワンステップ行くと、

▪ S waste A DOING 「S は A を DOING して無駄にする」

です。これを利用したほうが、「人のうわさ話ばかりで」を表現しやすくなると思い、後者を選びました。

(10) I felt that S waste A DOING

【無駄にしてしまった張本人】である S には I を、【無駄にしてしまった物事】である A には「時間」に当たるもの表現して入れていきます。「時間」は単純には time なのですが、【一般的な】時間ではなく、【自身が持っている時間】なので、my をつけて、A に放り込みます。【無駄にしている】は、ただの過去形ではなく、【その最中】という感じがしたので、進行形にします。

(11) I felt that I was wasting my time DOING

【A を無駄にしているときにしてしまっている行為】である DOING は、日本語を参考にして、「人の噂話ばかりで」あたりをいじればよいと思いました。多少難しいかもしれませんが、gossip です。

▪ S gossip about A 「S は A のことをうわさする」

という用法なので、【噂の対象】である A には、日本語から、other people を入れます。これを DOING の形にして、(11)に入れます。

(12) I felt that I was wasting my time gossiping about other people

全く

「無駄」のレベルが相当高いことを表します。動詞として使われている waste を修飾することを考えると、really や completely がいいと思います。今回は後者を取りました。

- (13) I felt that I was completely wasting my time gossiping about other people

ばかり

【それ以外はしない】というイメージです。日本語的には【「噂」以外はしない】というかんじです。英語ではこの「噂」は **gossip** の動詞用法で表しているなので、それを【限定】するような表現を探します。**only** か **just** でしょうか。今回は **just** で表します。

【限定されるもの】の前に置くので、**DOING** の形になった **gossiping** の左側に置きます。

- (14) I felt that I was completely wasting my time just gossiping about other people

C. A. + B.

予定通り、**A.でできた(8)**と**B.でできた(14)**を **however**, でつなげます。**however**, 自体には文と文を表面上つなげる機能がありません。ピリオドをつけ、2文が独立した形で、**A.とB.**を並べていきます。

- (15) **At first, I followed them because I was afraid that they would think that I was not friendly. However, I felt that I was completely wasting my time just gossiping about other people.**

Model Answer

At first, I followed them because I was afraid that they would think that I was not friendly. However, I felt that I was completely wasting my time just gossiping about other people.